



商工会報

2017  
10  
Vol.43

# みのわ



41年の想いをこめて。。。

**商工会館  
リニューアル!**

箕輪町商工会



## 黒田会長が 県知事表彰を

本会会長である黒田重行会長が、産業功労により平成29年度の県知事表彰を受けました。

黒田会長は平成18年に本会副会長に就任、平成21年から8年にわたり商工会長として地域経済振興を担ってこられました。



現在は、上部組織である長野県商工会連合会の理事や上伊那支部長なども務め、他団体の役職など奔走する毎日です。



黒田会長、ほんとうにおめでとうございませう。これからも引き続きよろしくお願ひします。

## 商工会館の リニューアルが決定

9月8日、箕輪町地域交流センターにおいて平成29年度臨時総会が開催され、「商工会館改修特別会計」が承認決議されました。

現在の箕輪町商工会館は昭和51年に新築され、その後増築工事を繰り返しながら40年以上に渡り地域の産業振興拠点としての役割を果たしてきましたが、経年劣化による外壁崩落や雨漏り、電源付属設備等の老朽化も激しく、耐震化の必要性も迫られていました。



本年度行った耐震診断により、耐震化工事が不可欠との診断結果が出され、この機会に諸先輩役員のご尽力により積み立てられた「資産取得等引当金」を取り崩させていただき、より時代のニーズにあった商工会館へと改修させていただきますことになりました。

リニューアル完了については、隣接の箕輪町産業会館耐震改修工事の終了とほぼ同時を目指し、地域産業支援

の拠点として商工業者の皆様にいっそう利用しやすい会館となるよう整備委員会で検討しています。

なお、予期しない集中豪雨による被災など重なったため、当面の間「JA三日町支所」に仮事務所を開設しております。皆様にはご不便をおかけしますが、仮事務所も明るい雰囲気にて頑張っておりますので、ぜひ今までどおりご利用願ひします。



移転先「JA 三日町支所」

信州デスティネーションキャンペーン  
「手を振ろう！運動」への協力



©長野県アルクマ

平成29年7月1日(土)、8月26日(土)、9月9日(土)の12時40分頃に沢駅から伊那松島駅の間を通過する、快速「飯田線リレー号」に、商工会、青年部、女性部、役場、一般の方が天竜川添いに集まり、旗や手を振っての「おもてなし」を実施しました。

列車が警笛を鳴らし減速すると、車内にいる乗客の皆さんも手を振って応援してください、参加者も「ようこそ！箕輪へ！」という思いを込めて旗や手を振って歓迎しました。



消費税軽減税率対応窓口相談等事業

「消費税増税に備えるー手元のお金が増えるどんぶり勘定の磨き方」  
 決算書を読むコツと神田式「資金繰り表」で残高を増やすセミナー

8月24日(木) 商工会館に於いて、講師に(株)神田どんぶり勘定事務所 代表取締役の神田知宜氏をお迎えし、消費税増税に備える「手元のお金が増えるどんぶり勘定の磨き方」セミナーを開催しました。

「どんぶり」と聞くと、「かつ丼」や「親子丼」の「どんぶり」をつい連想してしまうのですが、どんぶり勘定の「どんぶり」は、職人などの腹掛けの前部に付けた大きな物入れのことで、職人たちがこのどんぶりにお金を入れて無造作に出し入れしていたことから、大雑把な金の出し入れを「どんぶり勘定」と言うようになったとの事。

お金の「出」と「入り」を「どんぶり勘定感覚」で把握し、自社の経営上



の問題に気づき、手元のお金を増やす方法を学びました。

難しい専門知識は一切必要なし。何にどれだけお金を使っている、今後どこまで何にお金を使えるのかという「やりくり」の方法が学べ、受講された方からは、早速実践してみたいという意見が多く聞かれ大変好評でした。



今年度のみのわ祭りは、昨年まで開催していた日の出専地区から移転し、久しぶりに箕輪町の中心市街地(仲町周辺)においての開催となりました。

白鳥町長からは、「中心市街地商店街でのみのわ祭りは町民からの強い要望、これを実現するために商工会も是非協力を！」と言われておりました。



開催にあたり商工会員の皆様にも多くのご理解とご協力を賜りましたことを感謝申し上げます。おかげさまで大成功のうちにみのわ祭りを終えることができました。ありがとうございました。

商工会ブースには、昨年完成した「やぐら御輿」と今年担げるように作成した「商工会御輿」が展示されました。そこで樽酒と麦茶の振る舞い



を本会役員と女性部役員で行い、お祭りに来たお客様をもてなしました。

また、みのわ祭りの目玉イベントである神輿大行進にも参加しました。

昨年作成した花火が吹き上がるやぐら御輿を、肩で担げるよう新たに作った御輿は箕輪町商工会らしく、「お店良し」「お客様良し」「地域良し」この3つの繁栄を願う3本の手筒花火をご神体として載せてあります。

正面から見ると鳥居がかたどられているのですが、この鳥居は「円」の文字になっています。日本の通過「円」、そして人と人との「ご縁」この2つをより多く賜れるようにとの願いが込められております。商工会会員の手で元氣よく担ぎ、町の更なる発展を祈願して商店街を練り歩きました。

さらに、商工会では昨年に続き商工



天を登る竜の様相でした。花火の色や高さも昨年よりも、より美しくより高く吹き上がるよう改良されました。

久しぶりの箕輪町中心市街地でのお祭りは、普段生活している交差点や道路が、こんなに多くの人で賑わい、楽しい空間となることを再認識させていただきました。

中心市街地の祭り会場は、TMOのイルミネーションオーブニング点灯式が同日開催された効果もあり、祭りの賑わいにイルミネーションと花火が興を添えていました。

会やぐら神輿花火も披露しました。3本の大筒の吹き上げ花火がやぐら御輿から勢いよく吹き上がる様はまさに圧巻。夜空を駆け上がる3本の吹き上げ花火は、



発行総額3,300万円

# プレミアム商品券 好評!

即日完売

商業部会長 唐澤修一

恒例となったプレミアム商品券は、今年も7月23日に販売された。

販売開始前からの長蛇の列となり、昨年の反省を生かし、雨天、熱中症対策はもちろん、購入者の立場を考え、少しでも負担軽減ができればと、町交流センター内での販売に変更した。またその他にも購入券の前渡しに切り替えたり、部会以外の理事の協力をいただき販売スタッフの増強をはかったりと改善に努めた結果、最短での完売御礼となった。まずは、感謝したい。



近年、経済環境も変わり、消費者の意識、販売者の感覚、消費者、販売店のモラルについては、商工業者としてまだまだ問う課題はある。プレミアム商品券取扱店は年々増え、今年は138店になった。商品券を使う消費者にとってみれば、大型店、郊外チェーン店であること地域店であること関係な

い。購入にはお得だ。だが、これからの商工会のプレミアム商品券のあり方に、一石を投じる必要があると思う。地域振興のため、あらゆる観点からもう一度考え直す必要があると言いたい。実際、販売運営に携わり、根本的に大型店、地域店の区分は必要?とか、振興って何?という違和感に陥る。今後、あり方について会員の皆さんと議論したい。



大勢の方にご購入いただき感謝します。

**箕輪町 プレミアム商品券**  
 平成29年 7月23日 発売!  
 午前9時~正午 売切次第終了  
 箕輪町地域交流センター  
 平成29年 7月23日 発売 ~ 平成29年 12月31日 有効  
 1セット 10,000円 (1,000円券×11枚入り)  
 11券入り  
 11券入り  
 お一人様5セット(5万円)まで購入できます。  
 箕輪町商工会 TEL 0265-79-2117

## 『みのわ土産』 特産品復刻事業起動開始



商業部会長 唐澤修一

箕輪町の「お土産」って何があるの?と問う。まつぶさワイン、いも焼酎、赤そば焼酎、長芋、リンゴ、紅葉饅頭、いくつかは挙がる。

一昨年の商工会とJAみのわ、箕輪農業委員会との懇談会で特産品の課題があった。その中で、「商工会として何か無いのか?」に、商業部会として昔懐かしい「かりん」を挙げた。以前、商業部会の雑談に土産について語る機会があり、「かりん、昔よく各家庭で漬けたよね。」いつからか無くなった」と話題になった。それを切っ掛けに、「みのわのかりん」について調べてみたところ、効能や将来性等、箕輪町において生産者は意外と減少しており、絶滅品ということがわかり驚いた。

希少価値、埋もれた食材、みのわの食文化にあった物、これを土産や特産品にしようとする商業部会事業として立ち上げ、行政、JA、生産者が三身一体となって協議を重ね、「みのわのかりん」食材を使った、昔懐かしいシロップ漬の復刻、また、新たな試みとして化粧品、お菓子そして酒を生み出した

いと思っています。

10月14日、箕輪町文化センターで開催される箕輪町産業マッチングフェアにて、信州大学農学部准教授濱渦康範先生に「かりん・マルメロ」をテーマに講演をしていただき、あらゆる立場の方々から、これからの『箕輪産かりん』の将来性についてパネルディスカッションを行います。

当日は、商業部会ブースでは、かりんとマルメロの加工実演やかりんのシロップ漬け、かりん飴、かりんエキスの販売、試食会を行います。是非、会員皆様のご参加の程、宜しくお願いします。

◆昨年収穫された本かりん・マルメロのシロップ漬け試作品



本かりん・マルメロ・マルメロ



箕輪産 本かりん



箕輪産 マルメロ

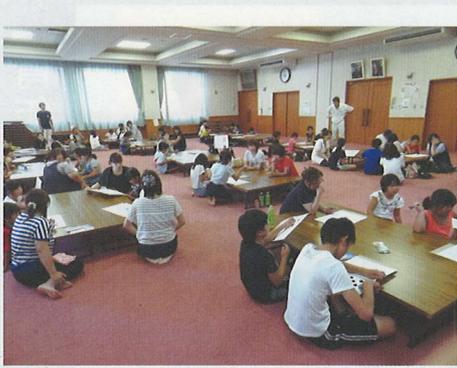
子供の未来創造事業  
VRメガネを作る

工業部会理事 丸山 巖

木下分館様から、「ダンボールで作るVRメガネ」の講座依頼があり、8月6日に部会役員4名と職員1名 計5名で、木下公民館へ行ってきました。

小学校1年生から、6年生まで合計45名程の参加があり、人数的には今までで一番多い参加となりました。分館役員と保護者を入れると、80名余りの講座となりました。

人数が多い分、準備や進行が難しく、思ったように進まず時間は押してしまいましたが、無事全員がVRメガネを完成して、



視聴することが出来ました。

自分で作った作品で3D動画を見ることが出来たので、皆さんにとっても喜んでいただくことが出来ました。夏休みの工作として、自宅で着色装飾等して提出する子もいるようでした。

ものづくりの原点は、こういった工作から始まるのかなと思います。手を動かし頭を使い、未来へ向けて想像力が少しでも高まったのではないかと思います。たくさん的小学生と触れ合い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

建設業部会

新技術視察研修事業を実施して

建設業部会長 小河節郎

平成29年8月2日、建設業部会では、年間行事の一つである「新技術視察研修事業」として、本年は通常立ち入ることのできない工事現場である美和ダム再開発事業の「湖内堆砂対策施設」(逆T型擁壁工事)の工事現場や、土砂バイパストンネル内を見学しました。

美和ダム上流部はもろく崩れやすい地形で、36災害や57災害など度重なる洪水により、大量の土砂がダム湖に流入して、ダムの機能維持が困難になっている。2005年には分派堰と土砂バイパストンネルを設置しているが、現在の工事では更に美和ダムに流入する土砂を防ぐための「ストックヤード方式」による湖内堆砂対策施設を建設中でした。



国内初の珍しい施設であるとのことなど、三峰川総合開発工事事務所のスタッフの方々の説明を聞き、ダムやそ

の維持管理の重要性を改めて認識すると共に、建設業部会員の見聞を広げる良い機会となりました。



草刈り作業には資格が必要?!

副部会長 北澤宗則

建設業部会で本年度行う次の講習会について会員の皆様から質問を受けましたので簡単にご説明いたします。

「刈払機取扱作業安全衛生教育」を修了した者には刈払機取扱作業者(かりはらいきとりあつかいさぎょうしゃ)の資格が与えられます。この資格を取得した者でなければ公共機関等発注の道路や河川維持委託業務の刈払い作業を行うことができなくなりまして、また自分の敷地外の刈払い作業を行う場合、報酬を得て行う場合、機械の点検や刃物の交換にも資格が必要な場合があります。

建設機器など便利になる一方、使い方間違えによる事故が多く、次々と資格ができています。何事も安全第一で!

【青年部部長あいさし】



部長 五十嵐 学

今期、青年部部長を務めさせて頂いております、五十嵐学と申します。

地域振興、福祉の増進、自社も含め活力ある組織創りを理念に活動する青年部。その強みは仲間との面と向かっつての付き合い、それと思いついた事を実現に向けられる行動力ではないかと思えます。時にしんどい事もありますが、避けがたい事ならそこにやり甲斐や魅力を見出したい。そのため部員それぞれの意見を聞こうと、検討会「未来を語ろう」を開催しています。夢や野望をお持ちの方もお探しの方も参加、加入待っています。

絆感謝運動

常任委員 小口 卓実

平成29年6月17日に、商工会青年部全国統一事業「絆感謝運動」を実施しました。今回は町の要望で天竜公園の木製橋2カ所の架け替えを行いました。部員で古く腐った橋を撤去、新しい材料の加工・防腐塗装・組み立てと約半日がかりの作業でした。公園利用者が安全に使っていただける物ができたと思っています。

今後も部員が力を合わせて地域の方々の為になる青年部活動を続けられたらと思います。



みのわ祭り「新キ浮きKID'Sアイランド」

常任委員 山口 英明

みのわ祭りのグループリーダーを担当させて頂きました。「みんなが楽しめる事をしたい！」という事で、今年度は新ゲームを開発し実施する方向になり、検討した結果「魚釣りゲーム」に決定しました。制作は大変でしたが、なんとか形となり当日を迎えることができました。

今年は祭り会場も変わるため不安があったのですが、当日は新ゲームの魚釣りをはじめ、各ゲームが大いに盛り上がり不安もふきとびました。みのわ祭りのリーダーをやって感じ



た事があります。初リーダーという事で不安からのスタートでしたが、今更ながら青年部の発想力、行動力にはとても驚かされました。また、物凄く助けられ本当に感謝しています。

そして祭りに足を運び「浮き浮きクロスアイランド」に来てくれた子ども達が楽しそうにゲームをやっている姿を見て、新ゲーム制作の苦労も忘れるくらい本当に感動しました。

最後に、みのわ祭り実行委員の皆様をはじめ、様々な方々のご協力の元、祭りを通し、青年部を通して自分自身の成長の機会を下さったことに大変感謝しております。

本当にありがとうございました。





しなの鉄道  
「ろくもん」列車の旅&  
「松代象山地下壕」の見学

副部長 石堂ますみ

6月13日の部員研修は参加者33名。「ろくもん」に乗車するため、バスで軽井沢駅に向かいました。

しなの鉄道「ろくもん」は真田幸村の「赤備え」をイメージした濃い赤が印象的な観光列車で、車内は長野県産の木材を多用しており木のぬくもりに癒されます。また、地元食材を使った食事サービスも受けられる魅力満載の列車です。

ほら貝の合図で乗車し、2時間25分の楽しい列車の旅が始まりました。各車両で車内の造りが違っており、素敵でした。

窓の外では保育園児から高校生、駅の職員さん、チョコレート工場の従業員さんらが各所で手を振って歓迎してくださり感激しました。また、停車駅



では名物駅長さんと陣羽織を着て写真を撮ったり、お茶の振る舞いをいただいたり、地域一丸となつての心地良いおもてなしを受けました。

車内の食卓で洋食コースをいただきましたが、丁寧に造られた地元の食材を使ったお食事はどれも美味しく、車窓の景色を楽しみながらデザートまで完食しました。皆さん早速、車内販売や停車駅でのお土産も購入していました。

評判通りの「ろくもん」列車の旅を堪能した一行は、長野駅から再びバスに乗「松代象山地下壕」へ向かいました。ガイドの宮本さんの説明を聞き、ヘルメットを被り地下壕へ向かいました。

昭和19年11月11日から翌20年8月15日の終戦の日まで、およそ9ヶ月の間に建設された地下壕は、6000人とも言われる朝鮮の人々が工事に従事させられ、秘密裏に行われていたそうです。地下壕は過酷で危険な工事だったことを物語っているようでとても胸が痛みました。二度と戦争を起さないためにも忘れてはいけない歴史として私たちの記憶に刻まれました。

いつも忙しい女性部の皆さんにとって、ゆっくりとまた勉強になった特別な一日でした。



松本！おもてなしと  
主婦の非日常を体験

副部長 赤羽 浩子

9月10日・11日、女性部の役員研修を行いました。

今回は信州DCにあやかり、信州のおもてなしを体験し日頃の忙しさから解放された主婦の非日常を体験するというコンセプトで、身近な場所である松本へ電車で行くことになりました。あまり細かい事を決めずに、宿と食事場

所だけ予約を取っておき、後は皆で考えて：まずは駅に近い中町通りを散策、きれいに舗装された道の両側に並ぶ店は古い建物を上手に改装した物や蔵が多く、それらを見て歩くだけでも楽しめました。

宿は美ヶ原温泉の「旬彩 月の静香」古民家風の宿は落ち着いた佇まいでほっとしました。夕食までの時間、皆でひと部屋に集まって、10月14日に

行われる産業マッチングフェアの手作りコーナーで作る「いちごのアクリルたわし」試作会を行い、あても無い！こつても無い！と言いつつながら編み物に没頭！



女性部ならではの光景でした。さてさて、待ちに待った夕食は、どれも素材の味を生かした優しい味付け、しかも品数が豊富で一同大満足！仲間さんもお持ちよく接客してくださり、手を濡らさず食べる幸せを改めて噛みしめました。

翌日は協議の結果、朝一番に松本城へ！城内見学は何十年ぶりの事でした。午前中の早い時間、しかも平日にもかかわらず次々と人が訪れてきて、私達が見学を終える頃には入場制限がかけられ30分待ちの案内が出される程でした。おもてなし隊と呼ばれる武者姿の人々が城をバックに観光客と一緒に写真を撮ってくれるのですが、暑い中、毎回大きな掛け声と共にポーズをとって楽しませてくれるその姿に感心し、多くの人達に支えられて松本城が成り立っていると感じました。



イチゴのアクリルたわしを一緒に作りませんか？

10月14日の産業マッチングフェアで「フリーマーケット」と「イチゴのアクリルたわし作り」を行います。自分で作りたい方は一緒に作ってみましょう！楽しいですよ！作るのが苦手な方には販売もします。お待ちしております～♪





# 自動車事故費用共済



くるま  
共済

もしものとき・・・お手頃な掛金でもうひとつの安心を！

人身事故で加害者となった場合に、お見舞い費用や、香典料など多額の自己負担が必要になる場合があります。万一のときあなたの経済的負担をサポートする共済、それが自動車事故費用共済です。

支払い対象の1つ、車両事故共済金は簡単に請求できて加入者に喜ばれています。

## 車両事故共済金

(共済期間内に1回のお支払い)

5万円

運転中の事故により、  
契約車両に5万円以上の  
損害が生じたとき  
(3万円以上5万円未満の損害は)  
3万円のお支払い

## 車両事故共済金

(共済期間内に1回のお支払い)

3万円

運転中の事故で  
契約車両に3万円以上の  
損害が生じたとき  
※駐車中の事故は対象になりません

### 車種別共済掛金(特約付)

車種	ナンバー	年払	月払
①自家用乗用自動車	3〇〇 5〇〇	12,500円	1,250円
②自家用軽乗用自動車	軽5〇〇	8,000円	800円
③自家用普通貨物自動車(2t超)	1〇〇 8〇〇	20,000円	2,000円
④自家用普通貨物自動車(2t以下)	1〇〇 8〇〇	17,000円	1,700円
⑤自家用小型貨物自動車	4〇〇 8〇〇	12,500円	1,250円
⑥自家用軽貨物自動車	軽4〇〇	8,000円	800円

### 車種別共済掛金(特約付)

車種	ナンバー	年払	月払
①自家用乗用自動車	3〇〇 5〇〇	11,100円	1,110円
②自家用軽乗用自動車	軽5〇〇	6,600円	660円
③自家用普通貨物自動車(2t超)	1〇〇 8〇〇	18,600円	1,860円
④自家用普通貨物自動車(2t以下)	1〇〇 8〇〇	15,600円	1,560円
⑤自家用小型貨物自動車	4〇〇 8〇〇	11,100円	1,110円
⑥自家用軽貨物自動車	軽4〇〇	6,600円	660円

詳しくは、商工会共済窓口までお問い合わせ下さい。

## 《新入会員紹介》

平成 29.2 ~平成 29.9

**商** どっくさろん もふ  
**dog salon mof**  
ペットのトリミング・ペット用品の販売  
地区 / 木下

**建** かぶしがいしゃ ふどーえんじにありんく  
**(株)ブドーエンジニアリング**  
電機通信工事、防犯カメラ、LED照明、無線センサー機器  
地区 / 南小河内

**商** てっばんさかば あすく  
**鉄板酒場あすく**  
飲食店  
地区 / 松島

**商** いざかやすなつくはるか  
**居酒屋すなつく春香**  
飲食店  
地区 / 松島

**商** みついはいつ  
**三井ハイツ**  
不動産賃貸  
地区 / 長岡

**商** ゆうゆうぼうと  
**YOU 遊 BOAT**  
カラオケルーム  
地区 / 松島

**商** なかむらしんぶんてん  
**なかむら新聞店**  
新聞販売業  
地区 / 松島

## 職員情報



しみす りえ  
【入社】記帳支援員：清水 理恵 (4月1日付)  
こんにちは、着任して半年になりました。  
まだまだ未熟な私ですが、元気に明るく頑張っていきたいと思っております。  
一日でも早く皆様のお役に立てるように精進してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

【退職】あさの ゆきとし  
事務局長：浅野 幸利 (8月31日付)

平成29年4月1日付で入社しましたが、都合により退職されました。



## 平成29年度下期 今後の事業予定

・次号発行までの現時点での予定です。・詳細は追ってご案内します。  
注) 数字は開催日、【商】【工】【建】【青】【女】は各部会・部の事業を表す。

予定時期	事業内容	予定時期	事業内容
H29.10月	上伊那市町村長と経営懇話会 (10日)	11月	【工】メッセナゴヤ2017 (8~11日)
	箕輪町産業マッチングフェア 2017 (14日)		商工会全国大会 (16~17日)
	パソコンセミナー (14日)		【女】LIFEセミナー (17日)
	【商】商業部会視察研修 (17~18日)		【建】視察研修 東京・横浜 (17・18日)
	【工】Care TEX大阪 (18~20日)		【工】セカンドエネルギー視察 (23~25日)
	【工】諏訪圏工業メッセ (19~21日)		
	【建】刈払機取扱作業安全衛生教育 (21日)	12月	【女】フラワーアレンジメント講習会 (21日)